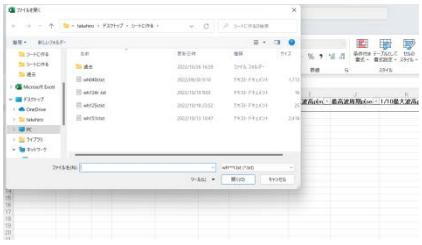
■ExcelGraphWH-608_の使い方

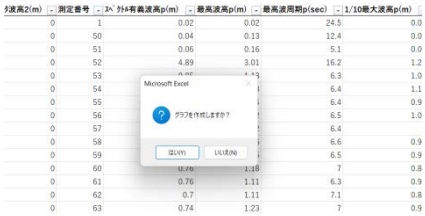
※本 Excel ファイルは Excel のマクロ機能を使用しています。
セキュリティの警告が出た場合は**[コンテンツの有効化]**をクリックしてください。

■処理結果リストの作成
本 Excel ファイルを開くとすぐに『ファイルを開く』が現れます。



テキストファイルであれば何でも開きますが
「wh***r.txt」の形式にのみ対応しています。
正常には動作しませんのでご注意ください。

[キャンセル]を押すとファイルを閉じます。



取り込み処理が終わるとグラフを作るか聞いてきます。

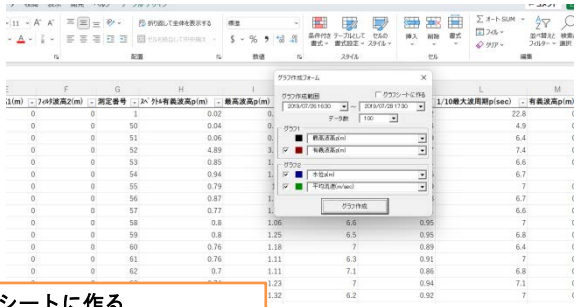
・[いいえ]を押すとグラフは作らずに処理が終了します。

・[はい]を押すと下記のグラフ作成に移ります。

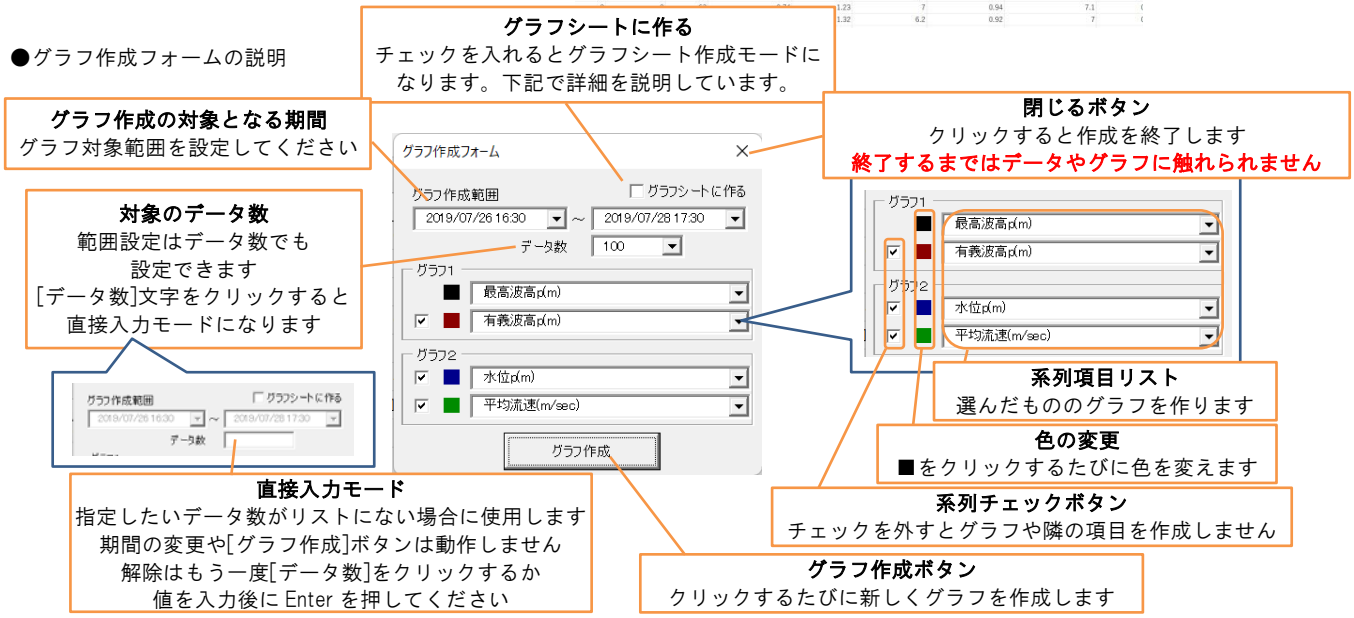
■グラフの作成

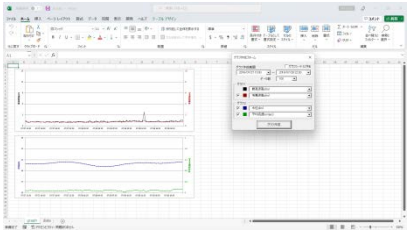
『グラフ作成フォーム』が立ち上がります。

なお、このフォームが終了するまでは
データやグラフには触れられません。



●グラフ作成フォームの説明



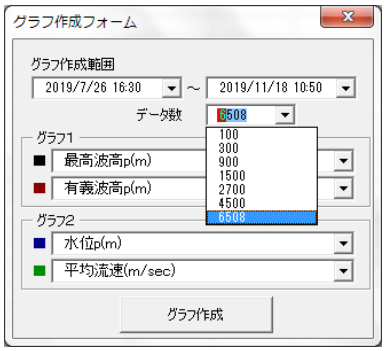


グラフ作成ボタンを押すと設定されたグラフを作ります。
満足のいくグラフができましたら、閉じるボタンでグラフ作成フォームを終了させてください。基本操作は以上です。
下記ではグラフシート作成モード、データテーブルでのグラフ操作を説明しています。

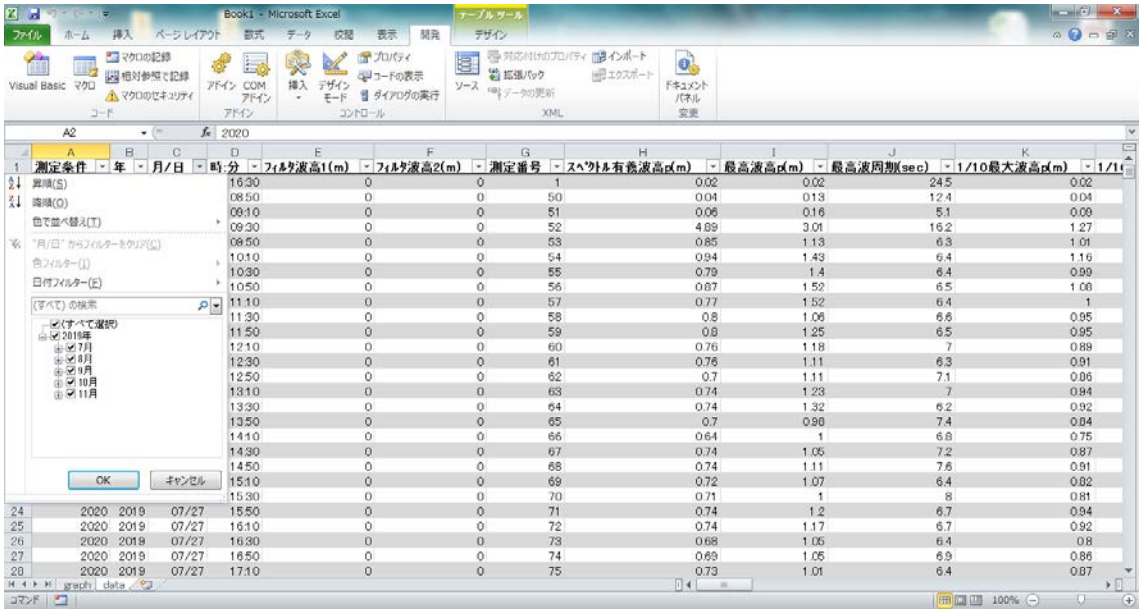
以上で使用説明は終わりです。
グラフ参照項目以外の列は削除していただいて構いません。

マクロを編集したい場合は
1．Excel を起動する。
2．メニューの「開く」を選択。
3．Shift を押しながら「開く」をクリック。
4．マクロが実行されずにファイルが開きます。

■テーブル機能を使用したグラフ操作



テーブル機能を使うとグラフ作成フォームでは作れないグラフも作ることができます。

1．データ数最大のグラフを作ります。
2．グラフを作成したら data シートを開きます。
3．項目横の▼のフィルター機能を使いデータを抜き出します。
4．抜き出したデータがグラフに反映されます。

グラフ作成フォームで作れないグラフの作成例としては
例１：時間帯 8：00～18：00 のグラフを作成する
例２：水位１m未満を除いたグラフを作成する
是非ご活用ください。